



※ 第197回ミニ企画展 ※



いずれも昭和時代 本館蔵(KINコレクション)

日中戦争と太平洋戦争の昭和12～20年(1937～1945)の時期、あらゆる物資が戦争のために優先され、国民の生活は制限されました。鉄や銅など兵器を作る金属資源が不足すると、家庭の鍋や釜などの生活用品まで回収されたことがよく知られています。これらの金属製品に代わるものとして、やきもの(陶磁器)による代用品が作られました。

代用品の生産は国の政策として進められました。窯業地では、やきもののガスバーナーや湯たんぽなど様々な代用品が作られ、戦争末期には兵器として陶製の手榴弾や地雷なども作られました。このミニ企画展では、令和7年度に寄贈を受けた陶磁製代用品資料(KINコレクション)を展示し、戦時中の暮らしをみていきます。

ミニ企画展関連イベント

ギャラリートーク

展示解説が聞けるスペシャルタイム!

7月23日(木)

8月15日(土)

- 会場 / 常設展示室内 ●時間 / 14:00～(30分程度)
- 申込不要 ●参加には当日有効の観覧券が必要

同時開催

※ ミニミニ展示 ※

「瀬田国民学校絵日記」にみる
学童疎開

昭和19年度(1944年度)に瀬田国民学校五年智組の女子児童が描いた絵日記の一部や関連資料を展示し、瀬田の地域で受け入れた学童疎開を紹介します。

会場 常設展示室内(2階 ミニコーナー)

大津市指定文化財 瀬田国民学校絵日記 昭和19年8月22日 本館蔵より



大津市歴史博物館

滋賀県大津市御陵町2-2 TEL077-521-2100
<https://rekihaku.otsu.shiga.jp/index.html>

